

学力向上 に向けた

具体的な実践事例

【事例21】東員町立神田小学校

自ら学ぶ「確かな学力」の定着をはかる



神田小学校では、「児童へのきめ細かな指導支援体制を確立して、一人ひとりに確かな学力をつける」と「効果的な少人数指導のあり方について実践的な研究を行い、学力の二極化の改善・解消につなげる」ことを目標として、算数科少人数指導を推進しています。

指導体制

習熟度別少人数指導やT.T.等による、**子どもの学びを重視したきめ細かな指導体制（全学年）**

- 5・6年生…各学級を習熟度別で2分割して編制
- 4年生…2学級を習熟度別で2分割して3学級編制
- 3年生…各学級を習熟度別で2分割して編制
- 2年生…3学級を均等割りした4学級編制
- 1年生…T.T.を実施（T1：担任、T2：少人数担当）

コース編成

- ・原則、児童と保護者の希望をもとに、担任と少人数担当で調整する。
- ・単元ごと、または領域別にコースを編制する。
- ・各学年とも、最初の単元は、全学級T.T.で授業を行う。（児童の観察も含む）

じっくりコース

少ない問題を丁寧に扱い、時間をかけてじっくり学習内容を理解することで、**基礎基本の力をつける**とともに、活用問題にも取り組む。

- 児童の人数：学級の1/3程度
- 指導者：担任 ● 場所：各学級の教室



ぐんぐんコース

多くの問題を解いたり、自分で問題を作ったり、**発展的な問題にチャレンジ**したりして、**思考力・判断力・表現力を高める**。

- 児童の人数：学級の2/3程度
- 指導者：少人数担当 ● 場所：算数少人数教室



じっくりぐんぐん

神田小学校 算数少人数
平成28年4月8日

◇◇◇ 算数の「少人数学習」について ◇◇◇
本年度、神田小学校では2年生以上の全学年で「算数少人数学習」に取り組んでいきます。1年生は、学期終りの中で安心して学習を進めていくことをめざして、T.T.（2人の教師で授業を進める）という形で算数の授業を進めていきます。
少人数学習は、少人数の集団で授業を教える一人ひとりの子どもの特徴や個性を存し、確かな学力をつけることを目的としています。
※2年生は、学年の2学級を3つのクラスに分けて授業を行います。
※3年生は、学年の2学級を2つのクラスに分けて授業を行います。
3年生以上の少人数学習では、「じっくりコース」と「ぐんぐんコース」を設けます。各クラスに分かれて学習を進めるスピードはあらかじめ学年からの目標や児童の学習状況に応じて調整します。詳しくは、各学年の学習指導要領をご覧ください。

毎週1回、放課後や昼休みを使い、**担任と少人数担当が打ち合わせ**を行い、コースに合わせた授業づくりについて話し合う。

↑ 保護者向けの算数科少人数指導の通信

系統的な指導

「算数指導統一事項」「算数指導の系統表」（神田小学校独自に作成）に則り、確実な定着をめざした取組を行う。また、学年の到達目標を定め、**基礎計算力アップ**も図る。

例えば・・・

- ・2年生…百ます計算（たし算・ひき算・かけ算）が3分以内ができる。
- ・4年生…わり算（第三類型）50問が5分以内ができる。
- ・6年生…わり算（第三類型）50問が3分以内ができる。

神田小学校 算数指導統一事項

1. 文章題への解法引き方
 - ・文章題から読み取った4～5ワードを整理するため、全校で統一した解法を教える。
 - 読み取りの要領は、①読み取ったこと、②解法を教えること、③確認すること、④検算すること、⑤答えを教えること。
 - ①読み取り、②解法、③確認、④検算、⑤答え
 - ①～⑤の順番
2. 式に整理をつける
 - ・たし算とひき算の算理は、単位をそろえてから計算するために、式に整理をつける。
 - ・わり算の算理は、文章題に出てきた単位で計算する。
 - ・文章題のある数値を式に代入して、答えを出す。答えは、3桁未満（1桁から3桁）の整数か小数で答える。2桁未満の整数か小数。
 - ・テストでの仮定解法を統一する。

算数指導の系統表

学年	単元	1学期	2学期
1年生	計算	くり上がりたし算 くり下がりのひき算	九九
	図形	面積カード	面積カード
2年生	計算	面積カード	面積カード
	図形	面積カード	面積カード
3年生	計算	面積カード	面積カード
	図形	面積カード	面積カード
4年生	計算	面積カード	面積カード
	図形	面積カード	面積カード
5年生	計算	面積カード	面積カード
	図形	面積カード	面積カード
6年生	計算	面積カード	面積カード
	図形	面積カード	面積カード

分析・検証方法

- ・全国学調、みえスタディ・チェック、総合学力調査 I R T、単元テストの結果を分析（誤答も含む）し、指導に活かす。
- ・単元テストで、両コースの平均点と中央値の成果率90%以上をめざす。《じっくりコース平均（または中央）値÷ぐんぐんコース平均（または中央）値》
- ・課題が見られる児童の追跡調査
- ・Q U 調査の分析を活かした学習意欲の向上

<全国学力・学習状況調査の結果

～向上が見られたもの～

- **算数A問題**
 - ・基礎的な計算問題
 - ・図形の位置関係の問題
- **算数B問題**
 - ・面積の求め方や式の意味の説明を記述する問題
- **児童質問紙**
 - ・算数の授業が好きと肯定的に答えた児童が83%
 - 少人数指導の取組に肯定的な回答をした児童が多い。

成果と課題

●●●●● 東員町立神田小学校長のコメント ●●●●●

本校の「学び重視型算数科少人数指導」は、「生きる力」に結びつく「確かな学力」を育成するための取組の一つです。授業では、希望を尊重しつつ児童間の差別意識やコース毎の授業レベルの差を生まないように、「学びの共同体」の研究成果を受け継ぐ「全校児童目標」である『聴く力・たずねる力・教える力・話せる力』の育成を意識し、ペアやグループを活用して、ジャンプの課題に挑戦する授業づくりを心がけています。

職員集団の努力とともに、少人数指導に係る加配や教育条件の整備があつてこそ、この実践が可能となつていきます。